

3年生総合的な学習の時間「ふるさと学習」 6つのテーマと撮影場所紹介  
～生徒振り返りレポートより～

## 千灯明



千灯明とは菅原道真公の霊を慰めるとともに、五穀豊穡に感謝する神事。この太鼓橋には7月25日の夜、千本のろうそくに火が灯され、神事池を温かな火が縁取る。



### 【竈門神社】

縁結び・厄除・方除の神様として親しまれている。大宰府政庁の北東に位置し、鬼門を守るとされる。神武天皇のご生母、玉依姫命（たまよりひめのみこと）を祀り、現在は縁結びの神様として信仰が厚い。宝満山頂に上宮、麓に下宮がある。宝満山は標高829m、福岡で最も登山者が多い山といわれている。

## 観世音寺



観世音寺は、元々「府の大寺」と呼ばれるほどの大寺院で、日本に3つしかない戒壇が置かれた貴重な場所であり、九州の僧尼たちの修行で栄えていた！  
また、国宝の梵鐘や、重要文化財がある・・・

## 飛梅



菅原道真が大宰府に左遷される時、大切にしていた庭の梅の木に「東風こち吹かば匂ひおこせよ梅の花あるじなしとて春を忘るな」の一首をかけて去ったところ、その梅の木が道真を慕って、大宰府にまで飛んで行ったという故事。また、その故事にちなんだ、太宰府市安楽寺の梅



## 令和

坂本八幡宮は、歌人・大伴旅人（おおとものたびと）の邸宅があったとされる場所。ここで「梅花の宴」が催され、「令和」の典拠となった万葉集の「梅花の歌三十二首の序文」が詠まれたとされている。元号「令和」のゆかりの地とされる。

## 鬼すべ神事

毎年1月7日に太宰府天満宮で行われる「鬼すべ」は、菅原道真のひ孫が986年に始めたといわれています。「すべ」とは太宰府の方言で「すべらかす（いぶり出す）」という意味だそうです。家や社についてしまった災い事の象徴である鬼を、天満宮の鬼すべ堂に追い込み、煙でいぶり出して退治するというものだそうです。



### 3年生総合的な学習の時間「ふるさと学習」 学習を終えての感想

～生徒振り返りレポートより～

- ・ふるさと学習を通してクラスみんなで一つの事やり遂げることはとても大変だったけどやり遂げた時の達成感の方が大きかったです。
- ・太宰府には私たちも知らないような魅力的な場所や美しい場所が多くあり太宰府っていいな～～！って思いました。
- ・地域の方との交流も出来て楽しかったです。
- ・今回のふるさと学習で、動画の作り方や難しさなどを学びました。
- ・みんなの演舞や作り上げた衣装などを見たときに協力すれば何でもできるし、素晴らしいものを作り上げることができるということを感じました。
- ・たくさんの時間をかけてふるさと学習を行い、自分ではやったことがない衣装作りをしたけど、自分の思った倍の時間や労力がかかった。だけど、演舞がかっこよく衣装を着て踊っているのを見て、頑張ってたかと達成感を味わうことができました。
- ・知り尽くしていたと思っていた太宰府の中でも、この学習を通して知ったことがたくさんあって、太宰府がより魅力的に見えるようになった。また、現地の人と実際にお会いして、地域の方との交流の大切さも感じた。
- ・演舞の活動では、みんなで動きを揃えるのに苦労し、団結することの大切さも感じられた。
- ・最初は、踊るのが苦手でしたくないとおもったけど、やっていくうちに楽しくなってきた。グループで団結することの大切さを学んだ。また、裏でいろいろしてくれた総務、衣装を作ってくれた衣装班、動画を作ってくれた動画班にも感謝したい。
- ・何かをゼロからつくり上げることはとても大変なことだと体育祭の時に感じていたけれど、今回改めてそのことを感じる事ができた。それから今回は、それぞれのチームに役割分担をして自分たちで最後までやり遂げたから、チームの団結力が強まり達成感も味わえた。
- ・ふるさと学習を通して、太宰府にあるものを大切にしていこうと思った。場所や行事は知っていたけれど、詳しい内容は知らなかったから知れてよかった。
- ・ふるさと学習を通して改めて大宰府の歴史などを知ることができた。少しでもこの活動を通して太宰府に貢献していきたいと思った。
- ・太宰府には沢山の歴史や食べ物、魅力があることを改めて知り、まだまだ知らない太宰府の魅力を知りたいと思いました。初めて観世音寺に行ってみて自然豊かだと感じ、他の班の撮影場所の話聞いてもっと色々な人に太宰府の魅力を伝えてほしい、伝えたいと感じました。まずは家族や友達と共有し、少しでも今回の学習が活かすことができたらなとおもいます。
- ・今回の「ふるさと学習」では、太宰府をいろんな人へPRすることが目的だったが、ただPRするだけではなく、自分たちが再び太宰府への郷土愛が確かめられた期間だった。演舞を踊ることで地元の再現、法被作成でメンバーの一致団結、動画班のより良いPRの工夫、総務班の地域の人に対する敬意と感謝と地域を愛する熱量、これらの集大成が太宰府中学校3年生の一大プロジェクト「ふるさと学習」の成功につながったと考えた。
- ・総務の仕事では、撮影の日に各班に指示を出して動いてもらうのが難しく、その場に応じて伝えたいことを考えることの難しさを知りました。また、ふるさと学習を通して改めて太宰府の歴史的スポットに触れ、普段何も感じずに過ごしていたこの地域がものすごく貴重な場所なのだを再確認できました。これからは、その地域で過ごしていることを理解し、ゴミ拾いや祭りの参加などでこの文化を継承していきたいです。